



かがやき
～ 時を守り，場を清め，礼を正す～

令和2年6月26日

第13(109)号

文責：学年主任

『引退』に思う！

～ この後、どのような気持ちで過ごすのか ～

運動部にしても、吹奏楽部にしても、合唱部にしても、そして大会やコンクールに参加はしていないが、だからこそ毎日の活動を大切にしている文化部、すべての部活動にとって、今年度は「言葉では表現できない程つらく、腹だたしく、切なく、むなしさ漂う状況」となっています。そんな中で無情にも「時間だけ」が、時を待たずに進んでいます。

今日は、6月26日(金)です。

例年ですと、運動部は「県北大会」を終え、「引退」という日を迎えていた3年生も多くいました。また、これから7月、8月コンクールや県大会に挑む3年生もいました。このことを思えば、なおさら「悔しさ」が心の中に湧いてくることと思います。

しかし、例年信夫中では、結果はどうであれ、運動部の「県北大会」が終了した段階で、学年として「引退」つまり「一つのけじめ」をつけていました。

そして、「引退というけじめ」の後、大会やコンクールに参加・出場する皆さんは、それぞれに練習に励んできました。

同時に「引退というけじめ」をつけた皆さんは、「本格的な受験勉強」へと「目標」を切り替えました。

つまり、毎年この時期は、立場の違う3年生が「共存」していました。

今年度は、7月末の「4連休」の「県北地区中体連の大会も中止」となり、すべての文化部も含めて3年生は6月30日(火)をもって「引退」となります。楽しい時期もありましたよね。苦しい時期もありましたよね。そして現在は「むなししい時」を過ごしていますよね。

しかし皆さん、絶対に「部活ロス」にはならないでください。「引退」の時期は、実は「例年通り」なのですよ。

自分自身の人生の最初の分かれ道である「高校入試」に向かって、最大限の取り組みをしましょう。

このような時期だからこそ、これからの生活で「最上級生そして最高学年」としての「真価(ほんとうの価値・実力)」が試されるのです。

7月の生活目標		<input type="checkbox"/> 進路に対するより具体的な目標を持つ。 <input type="checkbox"/> 1学期を振り返り、課題を見つけさせ、課題克服のための目標をもった毎日を送る。	
来週的生活目標		<input type="checkbox"/> 手洗い・うがい・検温・換気の習慣化を図る。 <input type="checkbox"/> 学習目標をより 具体的に 設定し、その実現に向けて 決意と覚悟 を持って取り組む。 <input type="checkbox"/> 「3密」を避け、自他の健康を意識する。	
時程・行事予定(内容)		お知らせ(お願い)	
6月29日(月)	1 月1	2 月2	3 月3
	4 月4	5 月5	6 月6
	<input type="checkbox"/> 『ちゃんとやろう ～ 3年間の集大成 ～ 』 <input type="checkbox"/> 部活動終了完全下校時刻18:00 <input type="checkbox"/> 実力テスト① <input type="checkbox"/> 奇数学級清掃日		
6月30日(火)	1 火1	2 火2	3 火3
	4 火4	5 火5	6 火6
	<input type="checkbox"/> 『ちゃんとやろう ～ 3年間の集大成 ～ 』 <input type="checkbox"/> 部活動終了完全下校時刻18:00 <input type="checkbox"/> 偶数学級清掃日		
7月1日(水)	1 水1	2 水2	3 水3
	4 水4	5 水5	6 水6
	<input type="checkbox"/> 『ちゃんとやろう ～ 3年間の集大成 ～ 』 <input type="checkbox"/> 部活動終了完全下校時刻17:45 <input type="checkbox"/> 清掃なし(ゴミ捨ては昼休み)		
7月2日(木)	1 木1	2 木2	3 木3
	4 木4	5 木5	6 木6
	<input type="checkbox"/> 『ちゃんとやろう ～ 3年間の集大成 ～ 』 <input type="checkbox"/> 部活動終了完全下校時刻18:00 <input type="checkbox"/> 通常清掃		
7月3日(金)	1 金1	2 金2	3 金3
	4 金4	5 金5	6 金6
	<input type="checkbox"/> 『ちゃんとやろう ～ 3年間の集大成 ～ 』 <input type="checkbox"/> 部活動終了完全下校時刻18:00		

◇ 早いもので来週の水曜日からは「7月」となります。本当に3年生にとっては「むなしさ、悔しさ、無念さ」が残る「引退」となってしまうかもしれません。私たち教員も「かわいそう、そしてつらく、悔しい」気持ちでいっぱいでありました。しかし「時間」は待ってくれません。「心を鬼」にして、気持ちを切りかえ受験勉強に集中するようにさせたいと思います。

保護者の方々もご存じのように、こんな「ことわざ」があります。

夏のがんばりが、秋に実を結び、秋のがんばりが、冬の厳しさに耐え、そして冬までのたゆまぬ努力が、春に栄冠をもたらす。

ぜひ、かけがえのないお子さんに、そして私たちにとってかけがえのない生徒たちに「春に栄冠」をつかんでほしいと思います。この「苦難」を「決意と覚悟」を持って、乗り越えている3年生を「誇り」に思って我々ががんばりましょう。

- 2 -